



発行所 福井県大野郡 和泉村 下穴馬 912-02 中電 912-03

(昭和48年4月1日現在)

村の人口

Table with population statistics: 出生 2人, 死亡 1人, 転入 17人, 転出 70人, 総人口 2,257人, etc.

村の面積

332.60 km²

今月の目標 山菜のとれるころ 一、たき火の跡始末を完全に... 二、タバコの吸殻はかならず消... 三、火入の許可はかならずとり...

全村民の健康管理を行うこととし、福祉行政、保健衛生行政に力を入れることとした。 二、特別会計予算 昭和四十八年度国民健康保険事業は...

和泉村財政事情の公表

和泉村財政事情の作成および公表に関する条例の定めるところにより、村の財政事情を公表します。今回は、昭和四十八年度当初予算を中心としてそのあらましを説明します。

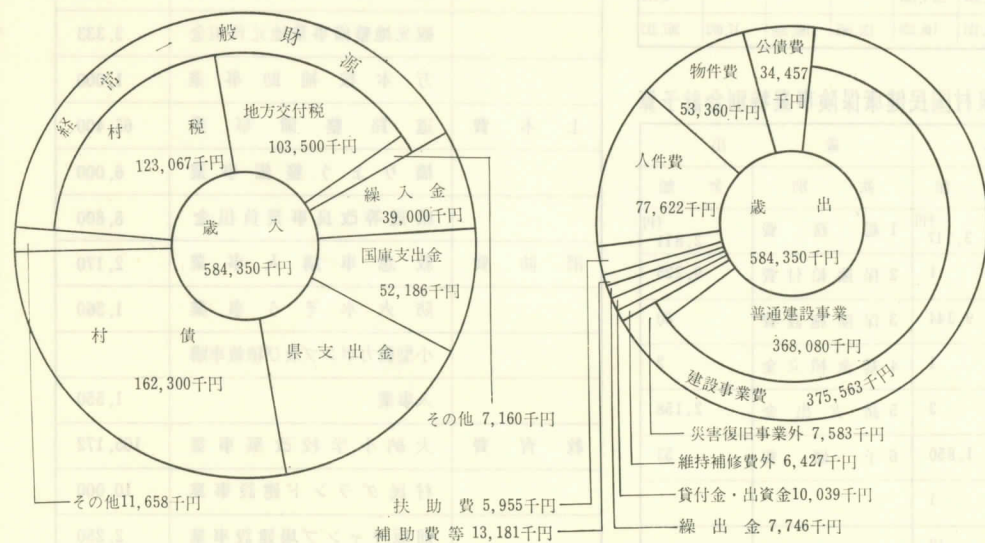
和泉村長 杉本 又助

昭和三十年代後半から四十年代前半にかけてのわが国経済の高度成長は、国民の所得、消費水準の著しい向上を招来した半面、環境破壊、各種の混雑現象、公共施設整備の著しい立...

八万五千円(二二二、一%)増の八十八万三千円の大型予算となっている。 一、一般会計予算 ①歳入 歳入予算の内訳は別表(1)のとおりである。

「森林の和泉、観光の和泉、地下資源の和泉」の基本構想のもと、住みよい村づくりのため、予算の重点化に務めた。 歳出予算の中で、一番多くを占めている教育費は、本年度一億五百七十七万円をかけて大納小学校の改築を計画して...

一般会計歳入・歳出予算の概要



歳入 584,350千円 (地方交付税 103,500千円, 税 123,067千円, 繰入金 39,000千円, 国庫支出金 52,186千円, 村債 162,300千円, 県支出金, その他 7,160千円) 歳出 584,350千円 (普通建設事業 368,080千円, 建設事業費 375,563千円, 災害復旧事業外 7,583千円, 維持補修費外 6,427千円, 貸付金・出資金 10,039千円, 繰出金 7,746千円, 扶助費 5,955千円, 補助費等 13,181千円)

(第1表) 歳入
昭和48年度和泉村一般会計予算

款	本年度予算額	前年度予算額	比較
1 村 税	123,067	134,958	△ 11,891
2 地方譲与税	1,200	1,400	△ 200
3 自動車取得税交付金	2,600	2,400	200
4 地方交付税	103,500	62,000	41,500
5 交通安全対策特別交付金	150	-	150
6 分担金及び負担金	4,011	5,708	△ 1,697
7 使用料及び手数料	922	1,201	△ 279
8 国庫支出金	52,186	27,919	24,267
9 県 支 出 金	85,479	72,802	12,677
10 財 産 収 入	3,360	3,239	121
11 寄 付 金	3,613	3,400	213
12 繰 入 金	39,000	40,000	△ 1,000
13 繰 越 金	1,100	100	1,000
14 諸 収 入	1,862	21,094	△ 19,232
15 村 債	162,300	61,900	100,400
歳 入 合 計	584,350	438,121	146,229

(第2表) 村税の状況

項 目	本 年 度	前 年 度	比 較
1 村 民 税	7,008	6,310	698
2 固定資産税	102,241	114,478	△12,237
2 軽自動車税	501	485	16
4 たばこ消費税	4,320	4,320	0
5 電気ガス税	537	900	△ 363
6 鉱 産 税	8,040	8,040	0
7 木材引取税	420	425	△ 5
計	123,067	134,958	△11,891

(第3表) 歳 出

款	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較	本年度予算額の財源内容		
				特 定 財 源 国庫支出金 地方債 その他	一般財源	
1 議 会 費	7,872	7,917	△ 45			7,872
2 総 務 費	59,036	52,325	6,711	505	335	58,196
3 民 生 費	17,853	14,912	2,941	7,272	781	9,800
4 衛 生 費	6,034	9,358	△ 3,324	134	420	5,480
5 労 働 費	237	314	△ 77			237
6 農林産業費	116,937	110,581	6,356	71,513	19,000	25,424
7 商 工 費	64,383	49,925	14,458	2,260	35,000	16,089
8 土 木 費	86,345	65,049	21,296	31,240	32,300	22,805
9 消 防 費	10,720	7,908	2,812	1,840		8,880
10 教 育 費	168,909	90,108	78,801	17,132	75,000	73,295
11 災害復旧費	7,246		7,246	5,769	1,000	477
12 公 債 費	34,508	24,196	10,312			34,508
13 予 備 費	4,270	5,534	△ 1,264			4,270
歳 出 合 計	584,350	438,121	146,229	137,665	162,300	267,313

(第4表) 主な事業費内訳 (単位千円)

事 業 名	事 業 費
総 務 費	大野勝山地区広域圏事業 1,300
	村有林造林事業 2,388
	国鉄バス駅舎移転事業 1,300
	蒸気機関車輸送展示事業 1,000
農林水産業費	振興山村特開ほ場整備事業 5,100
	林道開設改良事業 78,560
	林業構造改善事業 21,525
	淡水魚放流事業 2,000
商 工 費	箱ヶ瀬公衆便所建設事業 3,000
	駐車場整備事業 3,800
	国民宿舎建設事業 37,800
	観光地整備事業地元負担金 3,333
	万本桜補助事業 1,000
土 木 費	道路整備事業 65,400
	橋りょう整備事業 6,000
	県道等改良事業負担金 8,800
消 防 費	救急車購入事業 2,170
	防火水そう事業 1,360
	小型動力ポンプ及び積載車購入事業 1,550
教 育 費	大納小学校改築事業 105,172
	村民グラウンド建設事業 10,000
	前坂キャンプ場建設事業 2,250
災 害 復 旧 費	農林水産業施設災害復旧事業 7,246

(第5表) 昭和48年度和泉村国民健康保険事業特別会計予算

歳 入		歳 出	
款 別	金 額	款 別	金 額
1 国民健康保険税	3,117	1 総 務 費	2,811
2 使用料及び手数料	1	2 保 険 給 付 費	9,225
3 国庫支出金	9,344	3 保 険 施 設 費	80
4 県 支 出 金	1	4 基 金 積 立 金	2
5 財 産 収 入	3	5 諸 支 出 金	2,158
6 繰 入 金	1,850	6 予 備 費	53
7 繰 越 金	1		
8 諸 収 入	12		
計	14,329	計	14,329

(第6表) 昭和48年度 和泉村診療所事業特別会計予算

歳 入		歳 出	
款 別	金 額	款 別	金 額
1. 診療収入	4,768	1. 総務費	7,725
2. 使用料及び 手数料数量	20	2. 医業費	1,638
3. 繰入金	4,850	3. 予備費	282
4. 繰越金	1		
5. 諸収入	6		
計	9,645	計	9,645

(第8表) 昭和48年度 和泉村農業共済事業特別会計

歳 入 の 部		
勘定名	款	金 額
共済勘定	1. 共済掛金	102千円
	2. 保険金	220
	3. 連合会無事戻金	3
	4. 繰越金	103
	計	428

歳 入 の 部		
勘定名	款	金 額
業務勘定	1. 賦課金	43千円
	2. 県支出金	1,310
	3. 繰入金	842
	4. 繰越金	1
	5. 諸収入	7
	計	2,203
両勘定収入合計		2,631

(第7表) 昭和48年度 和泉村簡易水道事業特別会計予算

歳 入		歳 出	
款 別	金 額	款 別	金 額
1. 繰入金	2,354	1. 総務費	1,235
2. 繰越金	1	2. 公債費	1,121
3. 諸収入	1		
計	2,356	計	2,356

歳 出 の 部		
勘定名	款	金 額
共済勘定	1. 保険金	30千円
	2. 共済金	342
	3. 無事戻金	6
	4. 予備費	50
	計	428

(第9表) 和泉村営スキー場事業特別会計予算

歳 入		歳 出	
款 別	金 額	款 別	金 額
1. 使用料及び 手数料	6,830	1. 総務費	1,192
2. 繰越金	10	2. 営業費	4,400
3. 諸収入	2	3. 事業費	46,250
4. 村債	45,000		
計	51,842	計	51,842

歳 出 の 部		
勘定名	款	金 額
業務勘定	1. 総務費	2,075千円
	2. 業務費	78
	3. 予備費	50
	計	2,203
両勘定支出合計		2,631

九頭竜区 (箱方瀬) 誕生

初区長会を開催

本年度新しく区長さんになられた方々の初会合が四月十二日開催されました。杉本村長から「昔の区長さんとは違い、役場の嘱託員も兼ねられており、役場からの通知やお願い事、そのほか雑事も多くほんとにご苦勞様ですが、どうかよろしく願います」と挨拶、つづいて、つぎの事項について意見の交換が行われました。

一、部落座談会の日程について

◇各部落の都合のよい日を選び、座談会を開きたいこと。(注)すでに部落別に開催中でありませぬ。

二、無住家屋の撤去について

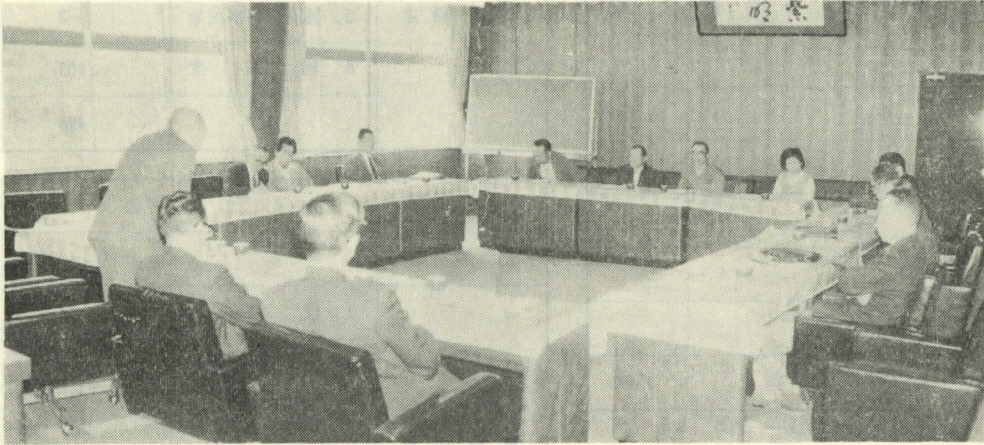
◇火災予防、美観をそねる。風紀上の問題等があり、無住家屋を撤去するよう、役場、区長、土地の所有者など関係者で話し合うことになりました。

三、九頭竜区について

◇箱方瀬附近全般を「九頭竜区」として部落の仲間に入り、明石利助氏が区長さんになられました。

四、その他火災の予防、健康管理の問題等意見の交換をしました。

写真：初区長会



選挙管理委員に

飯島広通氏(上大納) 新

宮原委員辞任に伴ない、四月二日付和泉村選挙管理委員会委員に飯島広通氏が就任されました。

行政相談委員に

稲郷 貞一氏

行政相談委員制度は昭和三十六年七月に設けられました。当初は、行政苦情協力委員と呼んでいましたが、昭和四十一年制定の行政相談委員法により行政相談委員となりました。

日頃、行政について苦情、要望などがありましたら、どんなことでもご相談下さい。

和泉村職員の採用希望者を募集

申込期間 4月18日～5月30日

次の要領により和泉村職員の採用希望者を募集します。

一、採用予定職種および人員

事務補助職 一名

昭和二十四年四月二日～同三十年四月一日までの出生者で学歴、男女の別は問いません。

保母 一名

保母有資格者で、40才までの女子

衛生婦 一名 38才までの男子

用務員 一名 40才までの女子

採用予定は、事務補助職は十一月一日、保母は十月一日ですが、くわしく知りたい方は役場総務課へお問い合わせ下さい。

ネック解消

新馬返しトンネルの建設工事に着工

影路トンネルも工事にかかる

国道一五七号線のネックとなっていた馬返しトンネルの山手側に、別の新しいトンネルができるようになり、既に工事が始まっています。

この完成は、五十一年春の予定ですが、完成いたしますと、二車線のほか両側に人道もつけられることになっていきます。

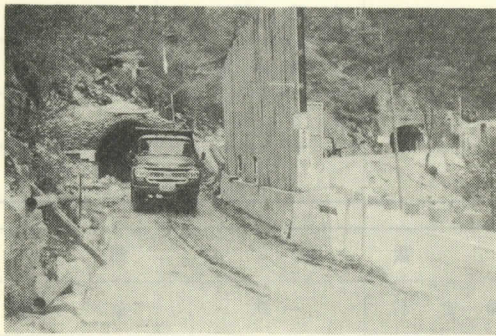
このほか、影路トンネルも着工いたしました。

おもな工事内容はつぎのとおりです

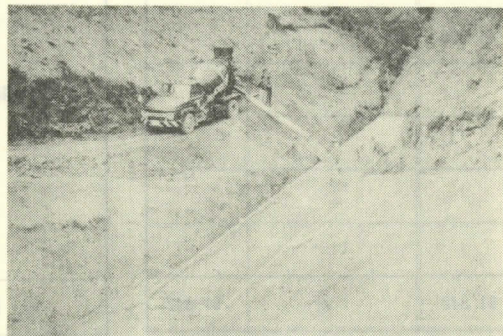
◇新馬返しトンネル

工事費 五億一千五百万円

施工者 飛鳥建設KK



写真A 和泉村側から見た新馬返しトンネル入口



写真B 路床工事から始められた影路トンネル工事現場

長さ 八五〇メートル

本年は一億五千万円(継続事業)

◇影路トンネル

工事費 五億三千万円

施工者 五洋建設KK

長さ 八二〇メートル

本年は一億五千万円(継続事業)

以上のほか、西勝原地籍の改良四〇〇メートル、上半原から油坂間の改良三〇〇メートル等があります。

また、スノーセット、傾斜地の崩壊止モルタル吹付等数カ所があり、早期完成が望まれております。



(団長)

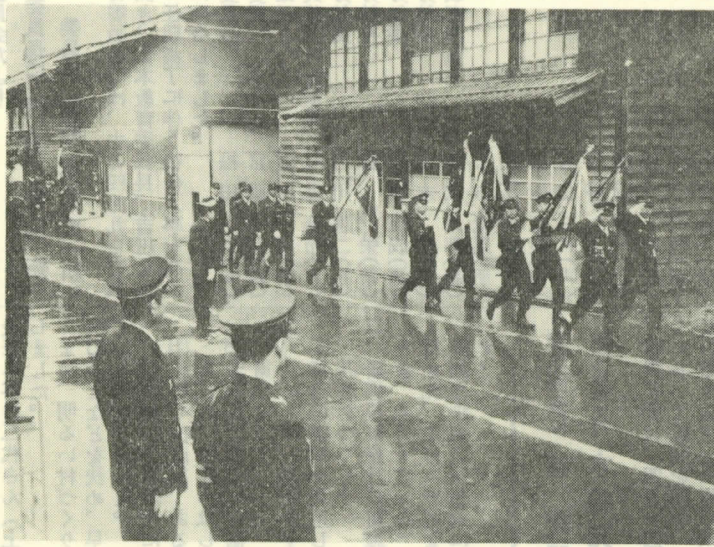
消防団出初式挙行

昭和四十八年度 消防団出初式挙行

本村消防団出初式は、去る四月十五日、小雨の中に朝日小学校で開催されました。

午前九時開会され、例によって消防長(村長) 県防災課長補佐ら来賓の観閲、機械器具点検のあと、貝皿部落において模擬火災訓練がありました。

また、旧朝日橋での放水試験、役場



数々の表彰旗をかかげて分列行進する本村消防団

健康診断を

総合保健推進事業を実施

村民の健康の増進をはかり、明るく家庭を築くため、和泉村総合保健推進事業を本年度から五カ年計画で実施することになりました。

この事業実施については、県や大野保健所の協力のもとに、村民ひとりひとりの健康診断を行い、病気を早目に発見するだけでなく、保健婦の家庭訪問により、ねたきり老人の病気の相談や指導、あるいは病状により、精密検査や療養指導も行います。

また、このパイプ役として各部落ごとに保健推進委員を委嘱して衛生組織を育成し、さらに各区長さんにも協力をお願いして、実のある保健活動を推進するつもりです。

本年は初年度ですが、次の事業を計画しております。皆さんのご協力をお願いします。

推進事業計画

- 一、地区衛生組織の育成強化
- 一、母子衛生事業の普及および向上
- 一、成人病予防事業の強化
- 一、その他衛生思想の徹底

なお四月一日付で委嘱された推進委員の方々は次のとおりです。

- () 内担当地区
- 前坂 三橋チヨコ(朝日前坂)
- 後野 巢守 芳子(後野)
- 伊月 高崎ゆり枝(伊月)
- 貝皿 須甲喜美枝(貝皿)
- 川合 新井峯子(川合)
- 朝日 洞川 信子(朝日一、二、三班)
- 朝日 深谷トミエ(朝日四、五班)
- 角野 山田まつ子(角野)
- 板倉 井南真智子(板倉)
- 下山谷 久枝岡畑・池ヶ島
- 下山島田 俊子(坂無)

- 下大納 松田 輝子(下大納)
- 上大納 原 公子(上大納)
- 中竜 梅本 敏子(中竜)
- 中竜 江波美代子(中竜)
- 中竜 西田ユキ子(中竜)
- 九頭竜 明石やえ子(九頭竜地区)



熱心に説明を聞く推進員の方々

「九頭竜湖駅前」駅を新設

(国鉄バス大野線) 越前朝日駅は廃止

このたび、越美北線九頭竜湖駅前に国鉄バス駅が設置されることになり、五月一日から「九頭竜湖駅前」の新しい駅名で、業務が開始されることになりました。したがって、従来からの越前朝日駅は廃止されます。

業務内容は、旅客、手荷物および小荷物の取扱いがされることになっていきます。

ただし、代金引換の取扱いはおよび配達の取扱いはされません。

旅客扱いについては国鉄バスだけでなく、九頭竜湖駅発となる鉄道各線の乗車券急行券、および指定席券等の発売、またこれに付帯する業務も取扱われます。

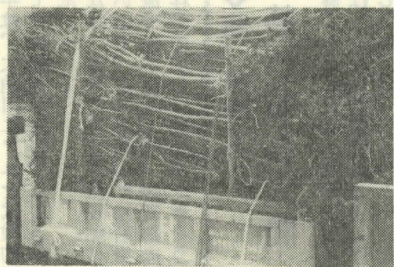
荷物の輸送が発着とも鉄道線(越美北線)でなされることになっていきます。

九頭竜ダムに桜花

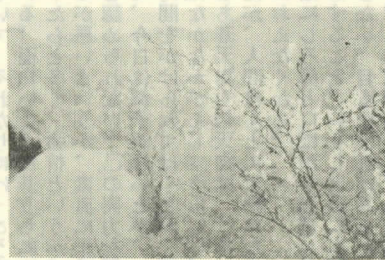
いまが満開

九頭竜ダムを「さくら園」にと始められた九頭竜万本さくら会事業も、三年目を迎へたが、すでに三千数百本が植栽されています。四月中旬からその一部があちこちで開花し、観光シーズン幕明けと重なり道行くドライバーや、ダム湖畔で昼食を囲む家族づれを楽しませていきます。

一足遅れのさくららの花に観光客は大喜びのこの頃です。



ドンドン運び込まれる桜苗木



咲き始めたソメイヨシノ桜

教育委員会だより

教育委員長に 松田 守氏(新)

委員に 宮原高司氏(新)

教育委員会では、去る四月九日委員会を開き、山本教育委員長、吉川公民館長の任期満了に伴う後任人事を次のように発令しました。

- 教育委員長 松田 守(新)
- 教育委員 宮原 高司(新)
- 公民館長 古川 将(新)
- 副館長兼朝日分館長 古川 藤市(新)
- 後野分館長 古川 啓二(新)
- 下山分館長 吉 利 栄(新)
- 大納分館長 谷 口 豊成(再)
- 中電分館長 山 本 浩(再)
- 社会教育委員 清水 卓郎(新)
- 山本 竜馬(新)
- 長谷川 秀雄(再)
- 桜川 正浪(再)
- 谷 口 三 代(再)
- 平野 ちよ(再)
- 長岡 昇一(新)
- 谷 一 磨(新)
- 秀 明(新)
- 三 島 哲一(新)
- 河口 孝次(再)
- 中内 智利(再)
- 稲 郷 栄一(再)
- 洞 口 一 夫(新)
- 谷 義 明(新)
- 塚 本 慎一(新)

婦人会長に 谷口三代さん(新)

「お祝、お見舞のおかえしをしない」ように村挙げて花いっぱい運動を展開

村婦人会は、四月八日午前十時から朝日小学校で総会を開き、昭和四十七年度事業報告と決算を承認、つづいて昭和四十八年度の事業計画と予算を決

定し、朝日(秋子)会長の辞任に伴う後任に谷口三代さん(上大納)を選出しました。

- また、明るい村づくり運動として、次のことなどを決め、早速実行にうつすことになりました。
- 一、冠婚葬祭の簡素化について
- (1)結婚や出産祝、あるいは病氣見舞などの、かえしはしないこと。
- (2)お葬式の場合に、個人の花輪は自粛する。
- 二、花いっぱい運動をすすめる。
- (1)部落の空地を利用して、ふるさと花壇をつくる。
- 三、研修視察旅行の実施

とき、六月十日(日)行き先、モデル地区を視察する予定詳細は決定次第会員にお知らせします。

青年団長に 谷 秀明君(再) 副団長には 水谷光一君(新)

村青年団は、四月十四日教育センターにおいて総会を開き、昭和四十七年度の事業報告と決算の承認、昭和四十八年度の事業計画と予算を決定した。また、新しい役員として、団長に谷秀明君、副団長には水谷光一君、また書記会計には城地美津江さんを選出しました。

新しい先生方をお迎えして 子供の喜びもひとしお

村教育委員会では、四月九日午前十一時から役場庁舎において、今年新しく本村の各小、中学校へ赴任された先生方の新任式を行いました。非常にピチピチと張り切った若い先生、味のあるベテランの先生、それぞ

れ十数名が一同に会し、一人づつ自己紹介のあと、杉本村長から「立派な先生方をお迎えして、和泉村の教育が一段と向上することを心強く思います。健康で大きいご活躍を期待しています」と歓迎のことばがあり、さらに、松田教育委員長、加藤教育長からもお祝いと激励のことばがあって先生方は学校へと向われました。写真、新任式の一コマ



日赤募金に協力を

日本赤十字社、社費運動月間 五月一日～三十一日まで 今日から今月一杯、全国一斉に日赤募金運動が始まりました。

この運動は、災害救護事業などの資金の基盤をなすもので、皆さんの社費と、賛助費であります。ことしも、皆さんのご協力をお願いします。

春の掃除検査を

五月十日に

中電地区は五月四日恒例の春季掃除検査を行ないます。中電地区は、五月四日に行ないますが各囀話員を通じ、早目に薬剤をお配りいたします。

人のうごき

- (婚姻) 大野市 池田 幸江
- 岐阜県萩原 二村 芳一
- 箱ヶ瀬 明石 やま子
- 朝市 西屋 さとみ
- 岡崎 原 健治
- 今立町 谷口 義孝
- (死亡) 末永松之助 七二才
- (出生) 寒田洋光 美年 長男
- 上大納 高橋勝彦 初美 二男

大納川に アユ放流のこころみ

奥越漁協総会開かる

旧石徹白村(白鳥町石徹白)や、水没移住された方々も同じ組合員であり唯一のつながりをもっている奥越漁業協同組合の総会が、去る四月二十二日朝日小学校で開催されました。年に一度、この総会にだけ顔を合わせるという懐しい、楽しい顔また顔は総会が終わっても、いつまでもいつまでも尽きぬ話題の花でいっぱいでした。組合では、水をきれいにする運動やダムでの漁法の講習会を開催するほか

今年、大納川にアユを試験的に放流して生育状況を観察することになりました。なお、今年には琵琶湖産稚鮎の生育が良いので、五月上旬中には石徹白川に放流できる見込みで、釣天狗には久々で存分の楽しい鮎釣ができそうです。

碁うちと人間

碁うちというものは面白い。碁うちとはいえない腕前であることは充分承知しているが、碁うちといえない碁うちもいて、それなりにけっこう楽しんでる。面白いことに碁うちには天狗がやたらと多く、強情というか、あきらめが悪いというか、素直に相手の実力を認められない。己の実力を棚上げて、今日は調子が悪いとか、こんな時間にかけられては...とか、天狗の鼻はなかなかかじょうらしい。

まあ碁天狗や釣天狗は、ごあいきょうだが、人間ほんとに天狗になると仕事におえなくなる。なにしろ鼻と口ばかり発達して、他人のすること、いうこと眼にも耳にも入らない。目もなければ耳もない。もはや、これは相当にくずれた顔である人様が近づかないのもあたりまえで、手を引いてくれる者としてなく、手さぐりで真暗闇を歩かねばならなくなる。そうなるとうごあいきょうではすまなくなるではなからうか？

あ と が き

暖冬のせいかわ、ぜんまい、うどの季節が早く訪ずれ、そろそろワラビ、フキの適期に入りかけました。遠来のお客様へのおみやげは、何ととっても新鮮な「山菜」が第一です。適期を逃さず、山の幸「和泉の味」を内外に満喫していただきましょう。